



11月14、15日に日本棋院会館で行われた第46回全日本学生囲碁十傑戦で、囲碁部の大熊悠人さん(二部法2)が、準優勝を果たした。

# 攻めの囲碁で準優勝

## 大熊 悠人さん(二部法2)

### 全日本学生十傑戦

西棋院の「試験碁」は惜しくも合格を逃した。囲碁に必要なのは「先を読む力」という。相手の動きを予測し、限られた時間の中で最善のものを選び出す。「花巻先輩は、慎重なタイプですが、私は攻め話した。

## 大学生のベースボールビジネスアワード

### 奥瀬ゼミが優秀賞



ビジネス・マネジメンの面からスポーツ、特に日本のプロ野球について将来的なビジョンやサービス、経営などについて考察する「大学生のベースボールビジネスアワード2009」(読売新聞東京本社主催・読売巨

11月11日、読売新聞東京本社で行われ、賞状と副賞が授与された。写真上。マーケティング・消費者行動がテーマの奥瀬ゼミは、現象と理論から導き出した仮説を統計的な手法で検証する「仮説検証型」の研究を行



### 仮説検証型のマーケティング問題意識をもつことが大切

井上さんらは、東京大学で試合を観戦した際、内野席と外野席の応援に温度差を感じた。「私たちが小・中学生だ。口野球には、ヒーローが不在。だから盛り上がり」に欠ける」と考え、アンケート調査を実施。観客から試合を観ると、違う面白さと同時に、問題点も見つけられることができた。

## HEIB講座

### 「HEIB(ヒーブ)」

講座(益子香寿美・学生代表「商3」)の本年度第28回講座が11月12日、生田キャンパスで開催され、校友で㈱リコーのCSR室に勤務する北條総子さん(平12文)が「企業の社会貢献における女性



性の役割と題して講演。バングラデシユでテニスをお教え、人々と交流した体験を語った。あてやかな青のサリィを現れた北條さん。在学中はテニス部で活躍、リコーに就職後、同社京に、ストリートチルドレンと一緒に地域の清掃活動をさせたエピソードも明かした。同国の貧困やインフラの悪さを目的とした、2005年から2年間、青年海外協力隊員としてバングラデシユへ渡り、小・高1貫の国立スポーツ学院でナショナルチームのテニス指導を行った。「コーチは引張るのではなく、導くこと」と「スポーツでよい結果を出すためには、心は豊かなか、心は豊かなか」と会場に投げかけた。

## 「職場・大学でのハラスメント防止」テーマに研修会



セクシアル・ハラスメント防止委員会主催の学生・教職員対象研修会が11月18日、生田キャンパスで開催された。毎年恒例の、セクハラを未然に防ぐための啓発活動の一環である。講師は、日本における「労務管理論」の授業にからめての講演となった。出席者は学生65人、教職員13人。テーマは職場大学におけるハラスメント防止で、セクハラは職場、特微、形態、法的責任、防止に向けてなど、実際に起こった事例を挙げ、意識を高める、成果のある研修会になった。(岡田 もえ子)

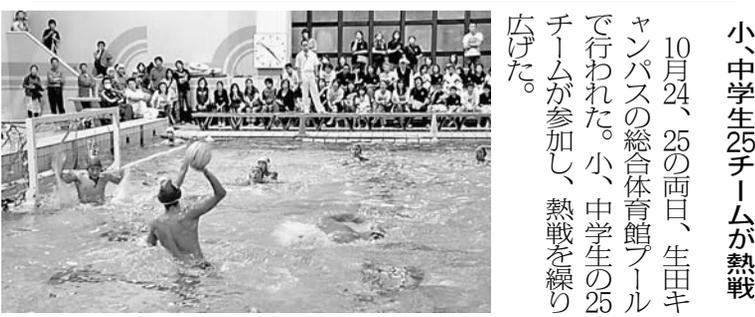
## 専大松戸高校

### 「書道・美術展」



専大松戸高校の「書道・美術展」が11月9日から24日まで(書道=9~16日、美術=17~24日)、新宿駅西口のコンコースギャラリーで催され、部活動や授業などで取り組んだ生徒たちの力作が展示された。

## 専修大学カップ第12回神奈川県ジュニア選手権水球競技



小、中学生25チームが熱戦。10月24、25の両日、生田キャンパスの総合体育館プールで行われた。小、中学生の25チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

## 学生就職アドバイザーに聞く 去年の今ごろ①

### 丹澤 陽平さん(法)

広告代理店のインターンシップ選考に落ちて、ガッカリしていた時期です。就職に関する本を読むと、「グループディスカッションでは、自分の話をするのに集中しがちだが、他人の話も聞いて、うまくまとめなければならぬ」とあり、あらかじめ先輩の体験談を聞いておけばよかったと反省しました。

### 渡辺 義之さん(法)

単位取得が厳しい状況で、今まで考に落ちて、ガッカリしていた時期ではないほど勉強に打ち込んでいます。軽い気持ちで就職課に相談に行ったら、「考えが甘い」と言われたので、周回は「就活モード」に入っていました。卒業見込みが出ないことには、就活をしても中途半端になってしまうと思い、「自分は自分だ」とマイペースでいることを心掛けていました。就活のスタートが遅かった分、就職課の講座にあまり出ることができなかったのが心残りです。今、就職課に来ている後輩たちはとても意識が高いと思います。皆さんのアドバイザーは、「低学年次から単位は確実に取る」といっています。